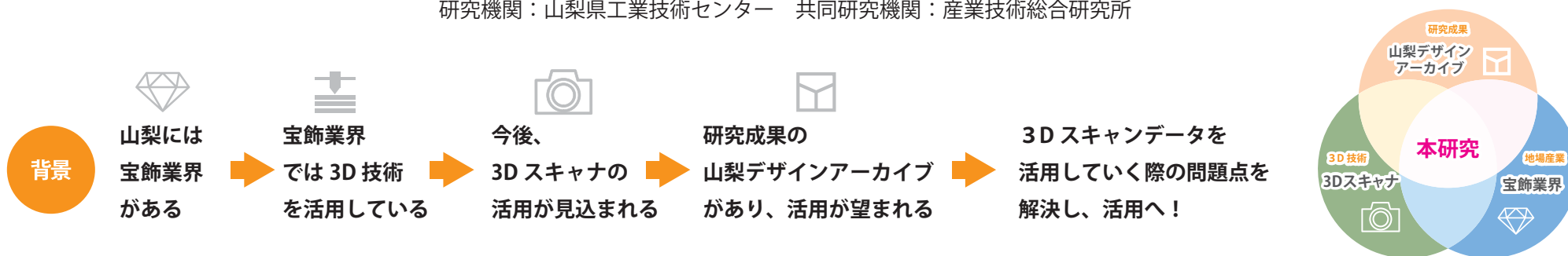


# 宝飾品における三次元データのデフォルメに関する研究 (H29 ~ 31)

研究機関：山梨県工業技術センター 共同研究機関：産業技術総合研究所



**現状** スキルと手間と時間が必要！  
こうした問題を解決するにはモデラーが修正（デフォルメ）を行い製品に落とし込んでいる

**目的** ガイドラインの策定を目指す！  
デフォルメを簡単に行えるようにして、新たな表現方法を開拓する

**効果** 新たな市場の開拓  
・新たな表現が容易にできるようになることにより、3Dスキャナで取得したデータから様々な製品を制作することができる  
例：ペットなどのジュエリー、土偶などのフィギュア  
・デフォルメ技術を他業界への転用  
・「山梨デザインアーカイブ」の有効活用

**内容** 2つのアプローチでデフォルメの手法を解明  
産総研と協力し、視線解析装置、3DCAD解析を用いたアプローチする。

**職人技の解明**  
モデルを作成する職人が制作したモデルと3Dスキャンし縮小したモデルを比較し、その相違点からデフォルメする部位や方法を解明する

**視線解析から特徴点抽出**  
人がどこを見て形状を判断しているか、その特徴点を視線解析で明らかにし、そのデータをもとにデフォルメを行う

**ダイナミックやまなし総合計画との関連性**

3 地域産業元気創造プロジェクト	【主な施策・事業】
【政策5】個性あふれる地域産業の振興	2. ジュエリー産業の活性化